

鎌倉みらい会派代表質問

鎌倉市議会2、3月定例会は、毎年会派代表質問と、翌年度の鎌倉市予算の検討が行われます。

私が所属する会派「鎌倉みらい」では、鎌倉市の現在の課題をどう解決するか、未来のためになにをなすべきか、鎌倉市運営の基本となる「総合計画基本構想」に基づいて3項目52件の質問をしました。

現在の基本構想は、H17年度からR7年度にわたる22年間の構想を実施中です。来年度からの6年間でその最後となる「第4期基本計画」が始まります。その中でも鎌倉市が引き続き力を入れて行くのが、

- 放課後子ども総合プランの全校実施、子育て世代包括支援センターの開設、保育所の建て替え支援などによる待機児童対策、小中学校の教育環境の充実など、子育て・教育分野の施策。
- 人生100年の長寿社会を迎え、何歳になっても学び、働き、成長できる環境づくりとして、ライフステージやニーズに合った就労機会の提供・生涯学習機会の充実。

- 将来にわたって持続的で住みよく安全な鎌倉市であり続けるために、公共施設の再編、自然災害への対応、働くまちとしての産業力の強化。

——などのテーマです。左ページから関連する質問の抜粋をご紹介します。

◆鎌倉市来年度予算、総額は約1,151億円

行政運営の基礎的な経費となる一般会計は、前年度より4.8%増となる約642億円。国民健康保険事業などの特別会計は、0.9%減の約509億円。その内容は中面でお伝えします。

ブログ「いやさか通信」から

念願の保育園オープン



私が市議会議員になった頃からの地域の皆さんの念願がかなって、「鎌倉浄明寺雲母保育園」が4月1日開所。公園に隣接した好環境です(3/30)。

広島市議会の視察に対応



「鎌倉市自転車の安全利用を促進する条例」を策定してから8年、未だにその過程について視察を受けることがあります(1/17)。

材木座海岸「しお祭り」



五所神社の小坂宮司様の神事、しお神楽も拝見。子ども達の心に残ったことでしょう。引き続き「どんど焼」、無病息災を願いました(1/11)。

鎌倉市消防出初式



日頃のご活躍に対して団員の方々の表彰。梯子乗りなどで盛り上がり、最後は消防車一斉放水。昨年の台風でのご尽力に感謝(1/6)。

手斧始め式



鶴岡八幡宮で鎌倉建築組合の御奉仕により執り行われる神事。大変歴史のある伝統行事で、鎌倉の暮らしをささえる仕事始めです(1/4)。

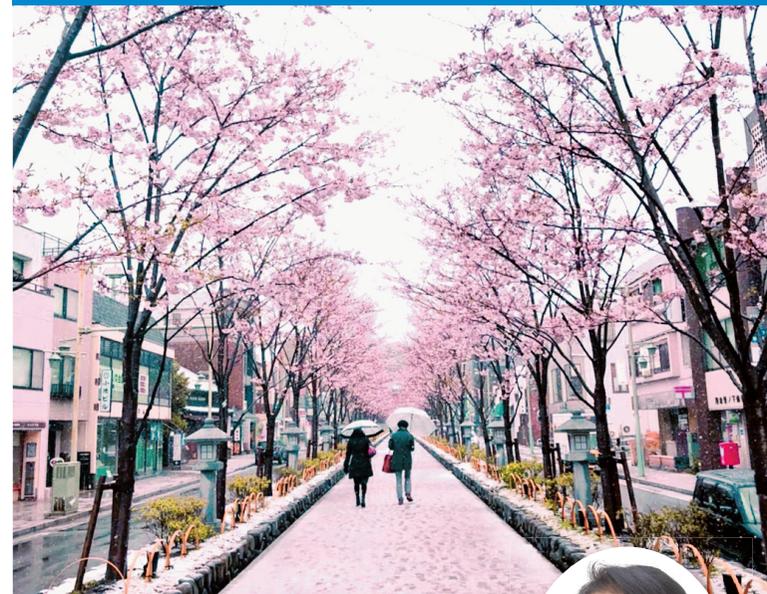
良き令和2年を願って



この二匹の子の絵は、人生の大先輩、居合道10段をお持ちの座間幹夫さんに描いていただきました。今年もよろしく願います(1/1)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



鶴岡八幡宮の段葛、平成の大改修から4年。桜も大きくなり今年こそは、と楽しみにしていました。花は見事に咲きましたがなんと雪景色。前日に出された外出自粛要請で人影も少なく、何十年前の鎌倉に戻ったよう。今年は鎌倉まつりも中止。多難な新年度ですが頑張りましょう(2020.3.29)。



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員

2005年初当選 4期目 鎌倉みらい

議会運営委員会副委員長

教育・子どもみらい常任委員会副委員長

政策法務研究会メンバー

レポート

No.64

2020,04発行

2020年2・3月議会からのご報告

- 1 会派代表質問と2020年度予算
- 2 子ども達の発達支援と障がい者支援
- 3 ご高齢者の生活支援事業と雇用促進
- 4 安全で発展し続ける鎌倉のために

討議資料

共育のまち、鎌倉をつくろう

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【E-mail】info@maekawa-ayako.net

子ども達の発達支援と障がい者支援

◆発達支援サポートシステム推進事業

支援者育成のため、サポーター養成講座・フォローアップ講座を実施し、R1年度は小中モデル校10校でサポーターとして活動。R2年度はその活動先を保育園・幼稚園・認定こども園に広げ、モデル園を選定して、就学前からサポートを受けられるよう取り組む。

◆地域における障がい児支援体制整備事業

支援を必要とする子どもとその家族が、生活する地域で適切な支援を受けられるよう、R2年度は、専門職が地域に出向いて出張相談を行う。幼稚園や保育園における支援の中核となるコーディネーター養成やペアレントトレーニングの実施については、R2年度を準備期間とし、R3年度の本格実施に向け取り組む。

◆障がい者雇用支援対策

第一次産業分野、特に農業や水産業の現場で働くことは、障がい者の強みを活かしたり、生きがいにもなる。このためR2年度から、新たに第一次産業との連携に係わる補助金を設け、農機具や水産物運搬機具など福祉事業所が自前で調達しやすくし、事業者の負担を軽減して、障がい者の多様な就労の場の確保を図る。

鎌倉市令和2年度予算

鎌倉市運営の基礎的な経費となる一般会計は、前年度に比べて4.8%増(約30億円)となる約642億円。

増額の内容は子育て・教育予算が多い。児童の居場所「放課後かまくらっ子」は新たに7カ所開設。市立小・中学校のトイレ改修費、同ICT教育環境整備。また幼児教育の無償化などの経費増がある。

災害に強いまちづくりを目指して、緑の維持管理費、GIS防災マップの運用開始、避難所のパーテーション、簡易シャワー、発電機などの設備充実費がある。

国民健康保険事業などの特別会計は、前年度比0.9%減の約509億円で、R2年度予算は総額約1,151億円となる。

ご高齢者の生活支援事業と雇用促進

◆ご高齢者生活サポートセンター事業

この事業については登録サポーターがサービスを求める利用者を凌ぐ数となり、年々増加している。買物支援や日常生活を支える重要なサービスであり、R2年度も、町内会のサロン、地域包括支援センターのイベントなど様々な機会を捉えて周知していく。

◆ご高齢者雇用促進事業

就労意欲の高いご高齢者のための窓口利用者、就労者数とも年々増えている。R1年度はH30年度の実績を上回ると予測されるが、R2年度も継続し、就労啓発セミナー、合同就職説明会に加え、新たに就労体験会の実施なども計画している。

安全で発展し続ける鎌倉のために

◆公共施設再編計画と学校施設整備

持続可能でより暮らしやすい鎌倉をつくるためには、公的不動産の活用による公共施設再編が欠かせないし、行財政改革の一部を担う取り組みだ。本庁等整備、本庁舎跡地利用など、多くの関連する全体最適化を図って進めて行く。また学校の適正配置や改築、長寿命化も再編計画を踏まえて進めて行く。

◆道路損傷等通報システムの導入

道路の損傷等、市民が日常生活の中で発見したものをスマートフォンから通報するもので、道路以外の社会基盤や防災・防犯など様々なものに応用可能となる。R1年度は職員による実施実験を行っており、R2年度には市民の協力のもとに、実証実験を重ねて行く。

◆災害防止の観点からの緑地の維持管理

鎌倉市はこれまで緑地の確保に主眼を置いてきたが、昨年の台風被害などを踏まえて、維持管理を重要な

ものとして取り組む。市有緑地については、隣接地の安全確保を優先して、緑地外縁部の剪定・伐採など防災対策の視点で維持管理を進める。民有緑地については、土地所有者の申請を基に支援を行うが、周辺住民の防災的な視点から取り組んで行く。年に6回、専門家によるアドバイスも受けられるようになる。

◆交通不便地域の解消にモビリティサービス

これまでミニバス路線の拡充など進めてきたが、道路の狭さなどで困難な地域があった。このため乗り合いタクシーなどを利用したオンデマンドモビリティサービスを活用することを計画している。

◆鎌倉地域の漁業支援施設の整備

鎌倉の産業振興の中で、漁業支援施設の整備は大切な施策で、施設整備にあたっては地元住民への丁寧な説明と理解が必要。R2年度には、施設整備による海中や海岸の砂や波に与える影響等について、解析データに基づきながら説明会を開催する予定。

鎌倉市の新型コロナウイルス

鎌倉保険福祉事務所管内(鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町)での感染が確認された方は、2/24日から4/3日までで、17名(4/3現在)。

3/1日に感染が確認された女性と複数の市職員が同じ施設を利用していたため、3/2日以後3/6日まで一部職員を自宅待機として、3/6日まで一部業務を縮小したが、4/3日現在、職員の感染は出ていない。

電話相談センター

●帰国者・接触者相談センター(鎌倉保健福祉事務所)
平日8:30~17:15 Tel.0467-24-3900
上記以外の時間帯 Tel.045-285-1015

●75歳(鎌倉市)からの専用電話相談
平日8:30~17:15 Tel.0467-61-3977

●厚生労働省電話相談(コールセンター)
全日9:00~21:00 (フリーダイヤル) Tel.0120-565653

●神奈川県専用ダイヤル
全日9:00~21:00 Tel.045-285-0536